

【明細書の記入のしかた】

1. 医療費通知に関する事項

医療通知を添付する場合、医療費通知に記載された自己負担額（複数ある場合は合計）、うちその年中に実際に支払った金額、うち保険や給付金（入院費給付金、出産育児一時金、高額療養費など）がある場合、記入してください。

※医療費通知とは、医療保険者が発行する書類で、次の6項目が記載されたものです。

（被保険者等の氏名、療養を受けた年月、療養を受けた者、療養を受けた病院・診療所・薬局等の名称、被保険者が支払った療費の額、保険者等の名称）

2. 医療費（上記1以外）の明細

中段の明細に、医療を受けた方の氏名、支払先（病院・薬局など）の名称、該当する医療費の区分に☑、支払った医療費、生命保険などで補てんされる金額をご記入ください。

※支払った医療費には、医療を受けた人がその支払先で一年間に支払った総額を記入してください。

（例）Aさんが〇〇病院で診察料として4月に1万円、7月に2万円支払った場合、支払額は3万円で記入する。）

3. 控除額の計算

①支払った医療費には、㊦ + ㊧の額を転記してください。

②保険金などで補てんされる金額には、㊨ + ㊩の額を転記してください。

③には、①から②を引いた額を記入してください。

④所得金額の合計額には、申告される方の所得金額の合計を記入してください。

（注）申告分離課税の所得がある場合は、上記の所得に加算した額を記入します。

⑤には、④に0.05を掛けた額を記入してください。

⑥には、⑤の額と10万円のいずれか少ない額を記入してください。

⑦には、③から⑥を引いた額を記入してください。